

TOTO

床置小便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

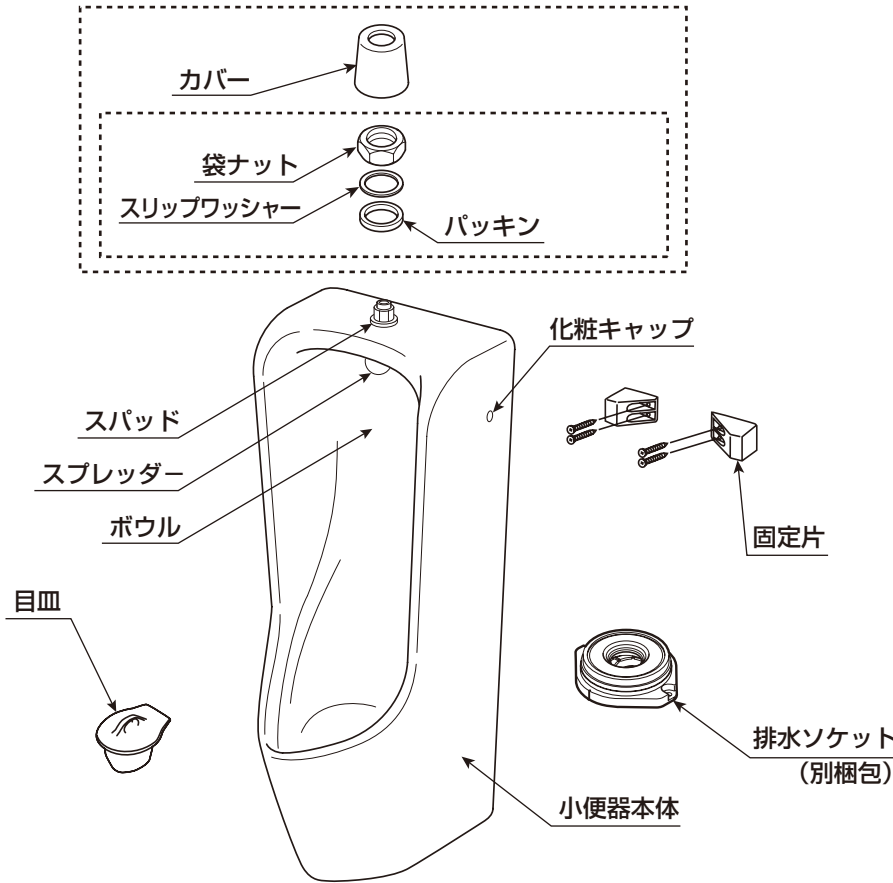
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	---	---	--

 警告	
 分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障、感電・けがのおそれがあります。
 水場使用禁止	浴室内などの湿気の多い場所に設置しない 故障、漏電の原因になります。

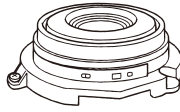
 注意	
 必ず実行	必ず2人以上で施工を行う 腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。
	施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ



HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5～10mmの高さで立ち上げてください。
また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

排水ソケット（別梱包）	
	
HP510R（塩ビ管用）	HP510E（鉛管用） HP510M（既設取り替え用）

※排水ソケットは専用品です。他社の排水フランジは取り付けません。

同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

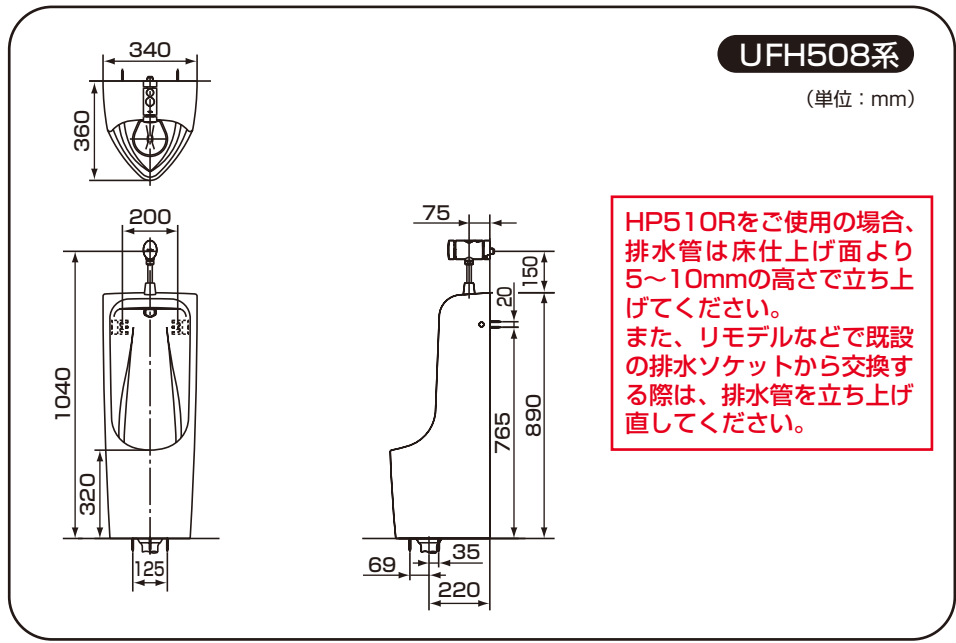
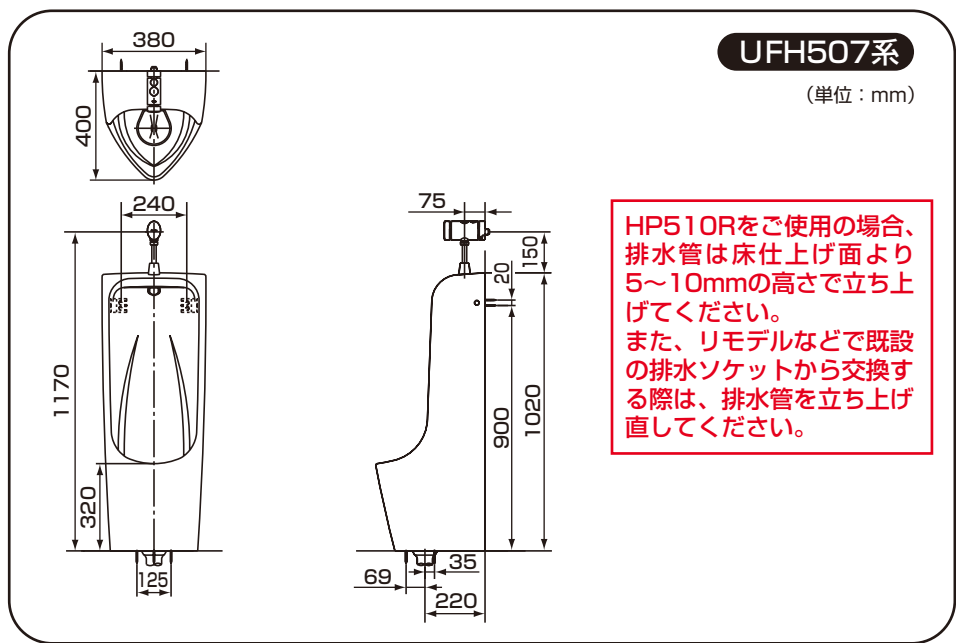
給水接続部				目皿
 カバー (1個)	 袋ナット (1個)	 スリップワッシャー (1個)	 パッキン (1個)	 (1個)
固定片		ふさぎふた	電源コード	
 固定片 (2個)	 木ねじ一式 (木ねじ4本) (皿木ねじ2本)	 (1個) UFH507CHR(CHZ) UFH508CHR(CHZ)のみ	 (1個) UFH507CHR(CHZ) UFH508CHR(CHZ)のみ	
その他				
 化粧キャップ (2個)		 施工説明書 (1部)	お客様に必ずお渡しください  取扱説明書 (1部)	

●排水ソケットは別梱包です。

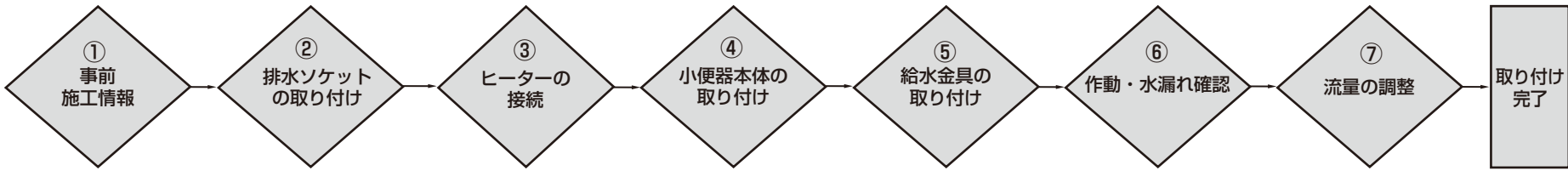
取り付け前のご注意

- ・水道工事は十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- ・施工前に給水管、排水管の中のごみや砂などがあれば完全に除去してください。
- ・梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります、商品には問題ありません。
- ・施工前に必ず同梱部品の確認を行ってください。
- ・UFH508Mはトラップなしですので排水トラップは現場手配願います。

完成図



施工手順



※排水ソケットの取り付けは別途、排水ソケットに同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

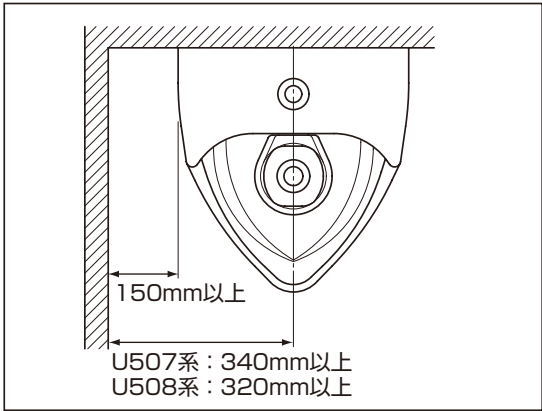
※寒冷地タイプのみ

※給水金具の取り付けは別途、給水金具に同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

取付方法

① 事前施工情報

小便器本体を固定するために、小便器側面から最低150mm以上（全長75mmの小形ドライバー使用の場合）のクリアランスが必要です。



② 排水ソケットの取り付け

※排水ソケットの取付方法は、別途排水ソケットの施工説明書を参照ください。

また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

③ ヒーターの接続<UFH507CHR(CHZ)・UFH508CHR(CHZ)のみ>

事前施工情報

電源コンセントの位置によって陶器側面からの電源コードの取り出し方向が変わります。
※電源コード取り出し方向反対側はふさぎふた（同梱）で必ずふさいでください。

警告



コネクター接続前に電源コンセントに電源プラグをつながない
感電するおそれがあります。

③ ヒーターの接続(つづき)<UFH507CHR(CHZ)・UFH508CHR(CHZ)のみ>

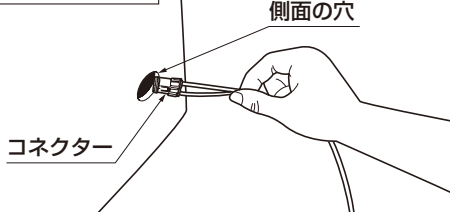
注意



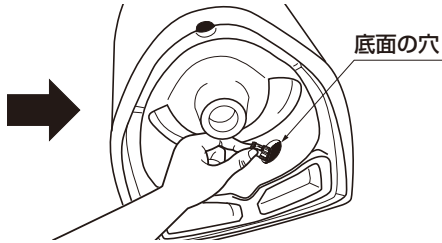
ヒーターコードがたるまないようにふさぎふたを引っ張り小便器を取り付ける
ヒーターコードがたるむと施工時、小便器や排水ソケットの間に挟まり水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

①小便器側面の穴から小便器底面の穴へ電源コードのコネクターを通す。

小便器側面図

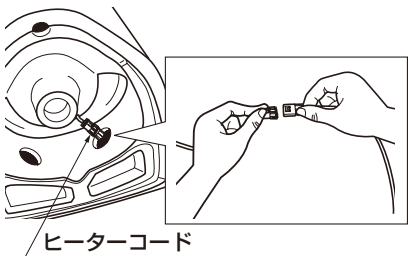


小便器床面図

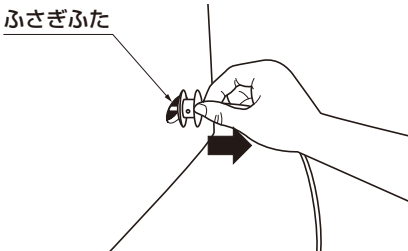


②ヒーターと電源コードを接続する。
※コネクターは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

③ヒーターコードがたるまないようにふさぎふたを引っ張り ④の手順で小便器を取り付ける。



④ふさぎふたを陶器面の穴にはめ込む。
※ふさぎふたはしっかりとめ込んでください。

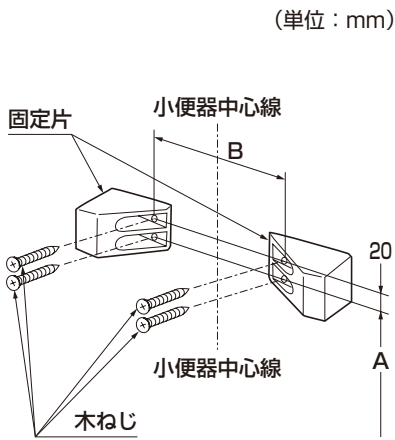


④ 小便器本体の取り付け

【小便器の取り付け手順】

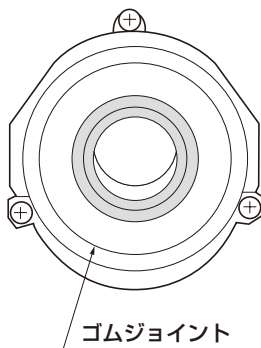
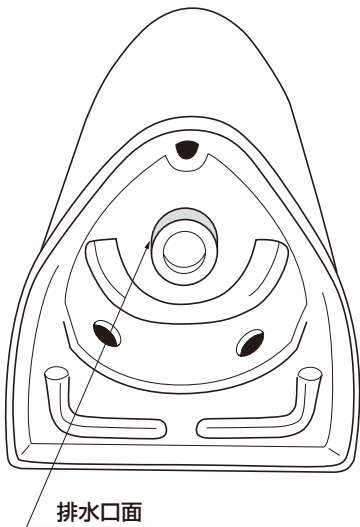
固定片の取り付け

	A	B
UFH507CR(CZ)	900	240
UFH507CHR(CHZ)		
UFH508CR(CZ)	765	200
UFH508CHR(CHZ)		
UFH508MR(MZ)		



小便器の取り付け手順

小便器取り付け前に小便器排水口面・ゴムジョイントのごみを取り除きます。

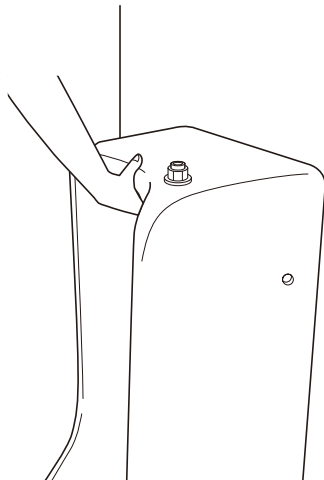


④ 小便器本体の取り付け(つづき)

- ①排水ソケットが小便器中央にくるようにして手前から小便器をかぶせ、床とのガタがなくなっていることを確認する。



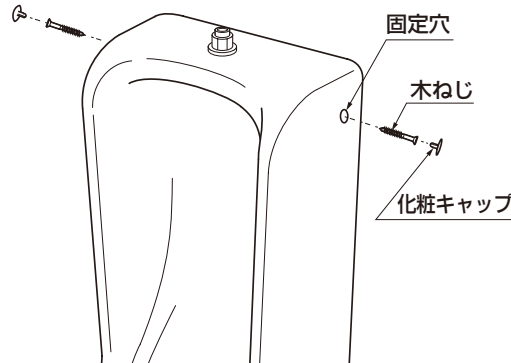
- ②小便器後面を壁面に押し付ける。



施工ポイント

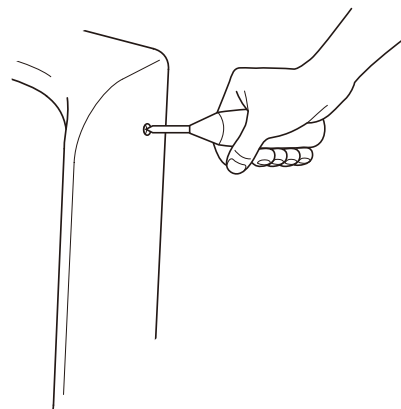
小便器後面を壁に押し付け小便器下面にかい物をして小便器の水平を出し、小便器を固定します。

- ③小便器の左右にある固定穴に木ねじを通して小便器を固定し、化粧キャップを取り付ける。



施工ポイント

- ・木ねじの締め付けは小便器が左右に傾かないように左右均一に締め付けます。
- ・木ねじの締め付けは手締めで行ってください。



⑤ 給水金具の取り付け

⚠ 注意



禁止

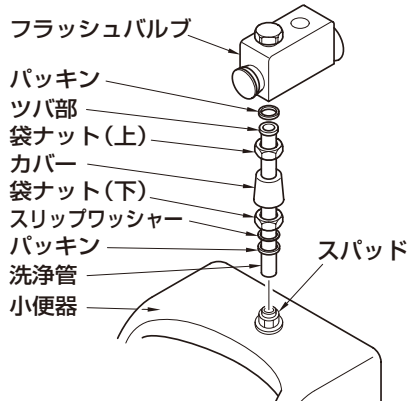
スパッドを固定しているナットは、ゆるめたり、外したりしない
スプレッターの位置や向きが変わり、水飛びや洗浄不良の原因になることがあります。

給水金具の取付方法は、別途給水金具の施工説明書を参照し、取り付けてください。
※洗浄管で小便器とフラッシュバルブをつなぐため、フラッシュバルブを垂直に取り付けてください。

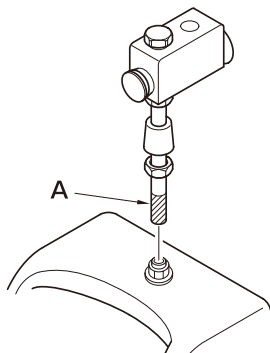
チェックポイント

- ・洗浄管はつばのある方がフラッシュバルブ側です。
※洗浄管を反対に取り付けると水漏れします。
- ・洗浄管の小便器への接続は現物あわせにて差し込み代10～15mm残して、切断してください。
※洗浄管の差し込み代が少ない場合は水漏れする場合があります。
※洗浄管は斜線部側（A）を切断してください。
- ・カバーに方向性があります。
※カバー下端と陶器面にすき間が出ないように取り付けてください。

給水部品一覧

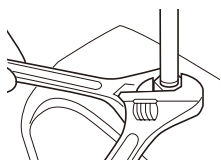


洗浄管切断箇所



取り付け時の注意事項

- ・袋ナット（下）締め付けの際はスパッドを工具で固定してください。
※スパッドが共回りし、水飛びや洗浄不良の原因になる場合があります。また、スプレッターが破損し水漏れすることがあります。
- ※バッキンがはみ出しカバーが取り付けられない場合があります。

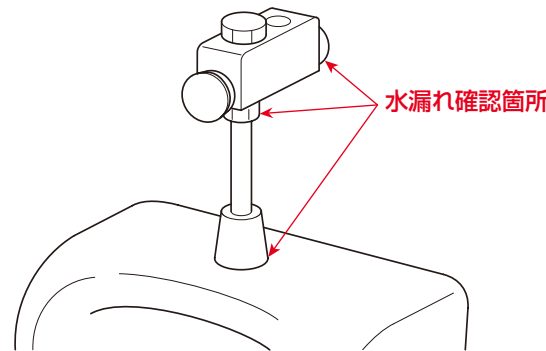


⑥ 作動・水漏れ確認

- ・配管接続の間違いがないことを確認後、通水します。
このとき、各接続部位からの水漏れがないことを確認してください。



給水部水漏れ確認箇所



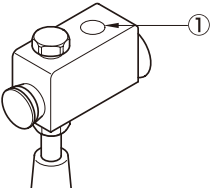
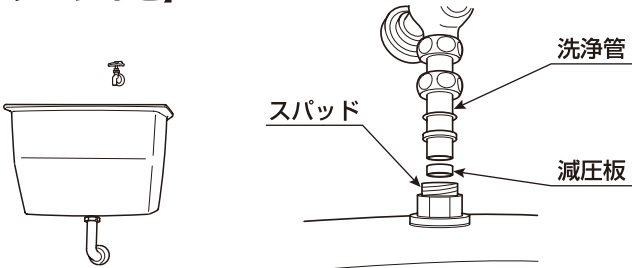
排水口部水漏れ確認箇所

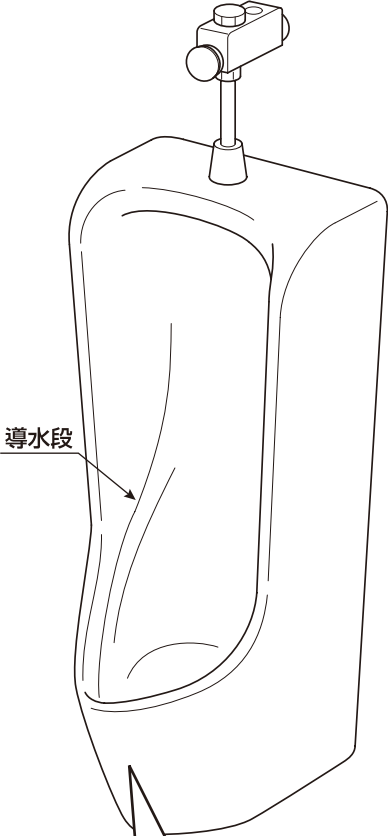


※水漏れ確認の際はフラッシュバルブの作動を数回行うようにしてください。

7 流量の調整

・オートクリーンUスプレッター式小便器用以外の組み合わせの場合は、下記の手順で流量を調整してください。

【手押しフラッシュバルブ】 	(吐水量の調節手順) ❶ フラッシュバルブの❶を全閉にする。 ❷ 水を流しながら徐々に❶を開けていき、小便器の先端まで水がまわるように調整する。
【ハイタンクなど】 	ハイタンクなど、連立洗浄システムを接続される場合は減圧板をスパッド(小便器側)に入れ洗浄管を挿入してください。 ※減圧板(品番：HM500)は別途手配してください。



洗浄水が導水段先端まで十分にまわるように調整してください。

※水勢が強過ぎると、洗浄飛沫・水飛びが多く発生する場合があります。